

本年6月17日に池田中学校で開催された交通安全教室に参加した生徒の感想です。

この教室では、スタントマンが交通事故を再現する交通安全教育の手法(スケアード・ストレイト教育技法)を用いて視覚に訴え、交通事故の怖さを体験してもらいました。

《考え方紙》

交通安全教室を終えて

今日見て思ったのは、ヘットホンをしながら自転車に乗ってもあぶなかったです。私もたまたまに自転車に乗りながら歩いていたところがありましたが、歩きスマホをしていたときに止みました。他にも、おさけを飲みながら自転車に乗っていたところが良くなかったのです。たまたま見かける時があるのですがやめて欲しかったと思いました。特にびっくりしたのは、自転車同士がぶつかって一人車にはねられていた場面が少なかったのです。これがからもうも気をつけたいことは、2人乗りしないこと、よそ見しないこと、おさけを飲みながら運転しないことです。ルールを守って生きたいのです。そして今日教えてもらったことを、いかにして生きたいのです。

《考え方紙》

交通安全教室を終えて

私は交通安全教室で学んだことを今日から取り組むことが2つあります。一つ目は車が左右するときに行輪が前輪よりも内側を通ってしまいそここの近くに人がいる場合事故の原因になることを学びました。2つ目はヘルメットを装着するとなしいとでは頭部の損傷が大きく違うことがわかりました。大切命を守るために必ず着用した方がいいなと思いました。今日から取り組む一つ目は、左右と後ろの確認をしようと思いました。普段は、左右だけだと、たのですが今回を通して気をつけようになります。2つ目は、今日学んだことを家族にも話して、自転車や車を運転する時の危険性を知らせようと思いました。